



シルバー高島

発行／公益社団法人高島市シルバー人材センター 広報部会 滋賀県高島市勝野215 TEL (0740)36-8191 FAX (0740)36-8010



未来への懸け橋 朽木 小林 二郎

年頭のご挨拶



理事長

川添 宏司

新年あけましておめでとございます。天候不順が続いた年末でしたが、皆様お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、当センターの事業運営に格別のご理解と、ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

平成30年は、全国的に災害の多い年でした。幸い当センターの会員の皆様には、大きな被害もなく安堵した年でした。

役員改選のあった初年度でしたが、厳しい環境ながらも、会員の皆様のご努力で業績も順調に推移いたしております。高齢化率も30%を超える高島市において、当センターは五百名以上の会員を擁し、生きがいづくりの組織として活動を行っております。市民の皆様から信頼され企業・行政から期待を寄せられ、益々存在意義が高まっております。国も「働き方改革」を標榜し、高齢者に多様な就業機会を提供を行う団体として、大いに期待されています。

今年「亥年」です。昨年の「戌年」

に比べ地味な年と言われます。現状に甘えることなく、組織体系を見直し、チャンスに備える年としたいと考えます。

平成30年度は介護保険法の改正に伴う「総合事業」の取組、子育て支援とこれまでのセンターの就業と違う分野が増え、今後益々需要が高まる事業であり、会員の皆様の持てる力を存分に発揮いただく絶好の機会だと思えます。

また、労働者派遣法の改正に伴う、条件緩和業種も滋賀県から認可を受け、シルバー人材センターに対する仕事の依頼が益々増加しており、需要に対応するため、会員の増強は尚一層必要となっております。引き続き会員の入会促進にご協力をお願いいたします。

シルバー人材センターは、会員の皆様の知識や技能と経験を活かして活躍いただく高齢者の団体です。最近では類似の団体も増加しており、危機意識を持った活動をするのが、大切と感じます。センターの事業運営の目的は希望に応じた就業機会を提供し、地域社会に貢献できる事を目指しております。受注した仕事は、親切、丁寧、迅速、をモットーにし、好感を持たれる言動に心がけ、諸先輩が築いてこられた素晴らしい歴史を背景に、今後なお一層発展させていきたいと思えます。

最後に会員の皆様が、「自主・自立・共働・共助」の理念の下、健康で楽しく安全に就業できる年でありますよう、そして皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

剪定技能講習会

日時	場所	講師
7月24日	安曇川	早藤 隆生氏
11月20日	新旭	早藤 隆生氏 横井川直之氏

剪定講習会を2会場で開催し、32名の参加がありました。皆さん大変熱心に受講されました。今後マキノでも予定していますのでご参加ください。



三脚使用時の安全管理説明



全員で実習



松の剪定実施



12月7日、安曇川公民館での料理講習会に参加しました。
 これまでの趣きを一変して、朽木の岡本三郎氏(プロ料理家)にお願した今回の料理講習は、前菜の三種盛り始まり汁物、むかごご飯に至るまでの合計9種類の会席料理でした。
 基本的な調味料以外の材料が20種類を越し、絶妙な味付けのもと、夫々の色彩や香りや味わいを堪能しました。改めて日本料理の素晴らしさを感じた講習会でした。
 この豪華な料理を20人が当日一斉に作る事の



成り行きを心配しましたが、岡本講師はじめ役員及び事務局の方々の事前の周到な準備に支えられて、当日はきれいな盛り付けまでも出来る余裕でした。
 満腹になった午後は座敷に並べたテーブルを囲んで、夫々の自己紹介へと進みました。この座談会がまた素晴らしく!! 各々の故郷、仕事、楽しみ、悲しみ、人生など披露し合って、語り合いの楽しい時間を過ごし、そして更に多くの人が参加してくることを願っています。

料理講習会 ～日本料理を堪能～

レクリエーション会長 石飛正巳

新春のご挨拶



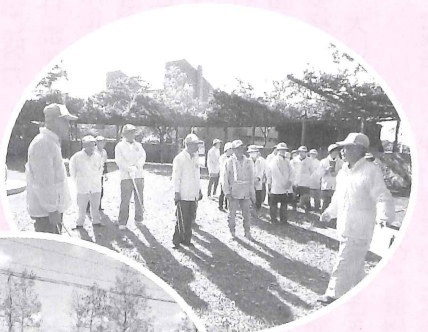
高島市長
福井正明

新年、明けましておめでとうございます。會員の皆様におかれましては、健やかに輝かしい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。
 川添理事長様をはじめ役員の方々や500人を超える會員の皆様方におかれましては、口ごころより高島市政各般にわたり、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
 さて、厚生労働省が発表した都道府県別の平均寿命では、滋賀県の男性が全国1位に、女性が全国4位になり、滋賀県が長寿県と認識されたことは記憶に新しいところです。一方、高島市の高齢化率は33%を超え、市民の3人に1人が65歳以上の方となっております。高島市はまさにシルバー世代

の方々の力で支えられているといっても過言ではありません。
 このような中、シルバー人材センターの會員の皆様におかれましては、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、年齢を重ねても生涯現役として、多様な形で地域社会にご参画されており、この地域の発展に大きな役割を果されているところであります。
 また、高島市シルバー人材センターには、毎年、地域の皆様から多くのご依頼が寄せられているとお聞きしております。これは、會員の皆様お一人おひとりが長年培ってこられました知識や経験を活かされ、様々な形で地域に貢献されてこられたことに対する市民の皆様からの信頼の表れであると確信いたしております。今後におきましても、持てる技術を遺憾なく発揮されますとともに、いつまでもお元気ですますご活躍いただけますようご期待申し上げます。
 市といたしましても、年を重ねてもそれぞれの方が生きがいを持って過ごしていただけるよう、その環境づくりに取り組んでまいりる所存でありますので、変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。
 結びになりますが、高島市シルバー人材センター様の今後ますますのご発展と、會員皆様方のご健勝、ご活躍を心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

ボランティア活動

安曇川地区
ボランティア活動前
の注意事項の打合せ



シルバー環境美化の日 10月17日

毎年恒例になりましたシルバー環境ボランティア活動に、今年は173名のご参加をいただきました。

主に公共施設周辺や琵琶湖岸のごみ拾いのほか、草刈・草むしり・植木の刈込み作業など約2時間汗を流し、大変きれいになりました。


ご参加いただいた會員の皆さん、ありがとうございました。



高島地区
市駐車場の
草刈清掃作業


今年もよろしくお願ひします!

亥年さんに聞きました




朽木 森本 成仁

- ①病気やケガをしないように、健康で仕事をしたい。
- ②シルバー会員の先輩達や後輩達と仕事をすることがとても楽しい。
- ③食事と睡眠をしっかりとり、薬を服用しない生活を維持して行く。



高島 久保 俊明

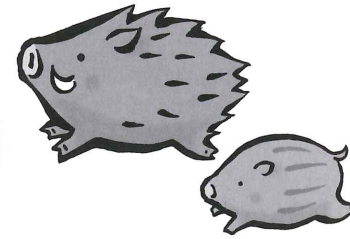
- ①「二期一会」を大切に、新たな出逢いに感謝とリスペクトを持って!
- ②きつい仕事、危険を伴う仕事もある。今までの経験だけでなく基本に戻って!
- ③一日にメール以外に最低5人以上との対話と少しの筋肉トレーニング。



マキノ 円水 正之佑


- ①健康安全第一。多くの人との出合いを大切に進んで行動する。
- ②興味のある庭の手入れで貴重な経験をさせてもらった。
- ③無理をせず適度な運動を毎日する。

今年の年男・年女




※シルバーの会員で亥年生まれの方は54名いらっしゃいます。この中から無作為に抽出し、アンケートをお願いしたところ12名の方からご回答いただきました。ご協力ありがとうございました。

- ①今年の抱負は何ですか?
- ②シルバーで就業して感じたことは何ですか?
- ③あなたの健康法を教えてください




新旭 一井 和彦

- ①体に気をつけ、毎日感謝を持って一年を過ごしたい。
- ②作業を通して人と人の交流ができ、仲間と共に出来たことが良かった。
- ③自給自足をめざしての野菜作り。こまめに体を動かしている。



安曇川 高見 和美

- ①色々な事に挑戦したいと思っています。
- ②シルバー世代が日本経済の下支えをしているのだと感じています。
- ③あるがままに生きること。そして楽しくね!!



朽木 橋本 久一

- ①入会して10年を過ぎました。健康で、もう少しでも働けたらなと思います。
- ②全然出来なかった剪定作業も、先輩達の教えで出来るようになりました。
- ③私はとにかく朝昼晩と御飯は抜いたことはありません。晩酌も少々やりませう。

会員数


平成 30 年 11 月 30 日現在 () 内はプラチナ

地区名	男	女	合計
安曇川	79 (15)	43 (2)	122 (17)
マキノ	78 (5)	14 (1)	92 (6)
今津	92 (7)	20 (4)	112 (11)
朽木	28 (3)	14 (3)	42 (6)
高島	41 (2)	21 (3)	62 (5)
新旭	77 (8)	41 (6)	118 (14)
合計	395 (40)	153 (19)	548 (59)

新入会員のお知らせ


平成 30 年 7 月 1 日～ 11 月 30 日までの入会者 13 名

安曇川	提中 八右工門、林 秀男、横井 貫二
マキノ	稲富 啓一郎、稲富 早苗、永井 住子、細谷 義治
今津	秋山 道男、浅田 龍二、平安名 弘江
高島	青谷 正喜、橋本 稔
新旭	森田 良則




安曇川 上原 秋夫

- ①安全運転、時間に余裕。
- ②派遣のため、短時間でも規則正しい生活ができること。
- ③空いた時間に歩いている。気分転換ができる。



今津 窪 喜 宗 治

- ①健康に気を付け規則正しい生活を維持。興味ある事には積極的に参加。
- ②運転業務は大変ですが、良い仕事に就けたと思ひ感謝しています。
- ③規則正しい生活、好き嫌いせず暴飲暴食を避け睡眠を十分にとる。




新旭 松宮 洋子

- ①そば作りに挑戦。
- ②仕事によっては、用事があってもなかなか休みがとりにくい事。
- ③犬の散歩と野菜作り。




マキノ 野崎 弘

- ①新しい仕事へ挑戦。各地への旅行。(可能な限り自分の運転で)
- ②デイサービスの運転業務の中で
- ③安全管理、十分な睡眠、適度な運動。



今津 柳 森 亥 平

- ①年甲斐もなく、剪定に挑戦したいと思っています。
- ②昨年は、草刈りに挑戦し、その難しさを知りました。
- ③強いて考えたら、物事に挑戦することでしょうか。



新旭 伊原 辰 夫

- ①一に健康、二に健康、三に健康で笑顔で介護。
- ②いやなこともあるが身体を動かすことが良い。
- ③趣味の切り絵と絵。

県子育て支援フェスティバル参加！

10月20日（土）に、東近江市布引グリーンスタジアムにおいて開催された、2018 子育て支援フェスティバルに、当センターも参加しました。

理事監事及び担当部会の役員さんを中心に総勢37名が、綿菓子・ぼん菓子販売や、竹を使った昔あそび・シュロの葉で作るバッタや折り紙などで子ども達とふれあいました。他の県内センターの活動の様子を見ることもできて、今後の参考になりました。

当日は、10月にしては冷たい風が吹き肌寒いくらいでしたが、3,500人ほどの来場者で賑わいました。



折り紙でコマを作っています



堀野善次会員が得意の手品を披露しました



竹でおもちやを製作中です



わなげ
はいったかな



竹ぼっくり 上手にのれたね

新年あけましておめでとございます。
この度新年号を発行しましたので、一読してください。又、投稿してくださった皆様ありがとうございます。
今後、会員相互の情報誌としてなお一層親しみやすいものにするため、頑張りたいと思います。どしどし作品をお寄せください。
本年もよろしく願います。

(広報部会 K)

編集後記

お世話になり始めて約2カ月経ちましたが、一日も早く会員のみなさんや事務局の力となるよう日々努めて参りますので、ご指導よろしく願います。
高島市シルバー人材センターの会員さんがお仕事をされているところを何度か拝見したことがあり、生き生きとされている姿に「素敵だなあ。」と思ったことを覚えています。今、自分も高島市シルバー人材センターの一員となることができ、500名を超える会員さんが様々な仕事をされているということを知りました。



総務係 奥村 理恵

新入職員紹介

11月より事務局でお世話になっております。生まれも育ちも高島市で、高島が大好きです。